

学科通信(G) 【第11号】

◇テストお疲れ様でした。

中間テストも終わり、明日から10月です。学校祭の準備も本格化していくと思います。それぞれのクラスでどのような催しがされるかとても楽しみです。今年度は出張で学校祭に参加できないのはとても残念ですが、準備期間の間に顔を出して、どんな様子かを見せてもらえればと思っています。

学校祭で一番大変なのは「話し合いができない」、「話しがまとまらない」ことかなと思います。例えば装飾と企画の2つのグループがあったとして、片方だけが順調に進んでいるなんてことがよくあります。順調にいく方は「人任せにせずに自分たちのこと」として行動できている場合が多いです。自分の意見を声に出したり紙に書いたりして、かつ他の人の意見も尊重しながら同じゴールに向かっていくということが大事です。人の意見にケチをつけてばかりいては何もまとまらないし、何も進みません。君たちにとって、学校祭が良い思い出になることを願っています。

学校祭は一人ひとりのポジションの役割を果たすスポーツのようでもあり、それぞれの力を合わせて良いものに仕上げる合唱のようでもあります。野球しながら合唱するのは簡単じゃないよね。だから学校祭って大変なのよ。苦しみなさい。でも、その分良いこともあるから頑張ろうぜ。

◇続・学校祭

学校祭の話しをもう少し書きます。学校祭はクラス内外での衝突がとても起きやすいです。自分勝手な人や任せっきりの人がいたり、文句を言ったり言われたりして、SNSに鬱憤を晴らすために書き込んだり...そんな風にしてこれまでの良好な関係が壊れていくのをたくさん見てきました。金曜ロードショーのトトロと同じくらい見てきました。

芸人で作家の又吉さんの小説「火花」にこんな一文があります。「人を傷付ける行為ってな、一瞬は溜飲が下がるねん。でも、一瞬だけやねん。そこに安住している間は、自分の状況はいいように変化することはないやん。他を蹴落とすことによって、今の自分に安心するという、やり方やからな。その間ずっと自分が成長する機会を失い続けると思うねん。可愛そうやと思わん？あいつ等、被害者やで。俺な、あれ、ゆっくりな自殺に見えるねん。」**本当にその通りだと、いや、ほんまそうやねんと思いますねん。そして、その後こんな風続きます。**「だからちゃんと言うたらなあかんねん。一番簡単で楽な方法選んでもうてるでって。でも、時間の無駄やでって。ちょっと寄り道することはあっても、すぐに抜け出さないと、その先はないって。面白くないからやめろって」**そういうことです。**

限られた高校生活、せっかくの時間を面白いことに使って、そういう時間をたくさん共有して行ってほしいと思います。たのしい学校祭にしましょう。09.30 文責 齋藤